



# 大仙市農業と食に関する活性化基本構想

## アクションプラン

令和2年度～令和7年度

秋田県大仙市

令和2年3月



# 目 次

第1章	大仙市農業と食に関する活性化基本構想 アクションプランについて	1
1.	アクションプランの位置づけ	
2.	アクションプランの期間	
3.	基本コンセプト	
4.	基本方針と指標目標	
第2章	基本方針とアクションプランの関連性	2
第3章	事業計画	3
①	米や豆の生産における実需者との連携による農業所得の向上と加工工場の誘致	3
②	地域の核となる農業経営体の育成	4
③	スマート農業の推進と雪やもみ殻等未利用資源の活用	5
④	農業者の起業意欲向上と事業化の推進（農業者ビジネス塾・ビジネスコンテスト・起業家支援）	6
⑤	冷凍加工施設稼働に向けた取組	7
⑥	世界に向け「米と酒」を発信（大仙市うまい米・うまい酒都市宣言）	8
⑦	大仙市農産物の麴商品開発と市内飲食店での提供	9
⑧	いぶりがっこ用大根の生産拡大	10
第4章	事業スケジュール	11

# 第1章 大仙市農業と食に関する活性化基本構想 アクションプランについて

## 1. アクションプランの位置づけ

本アクションプランは、地域の担い手を確保し持続可能な強い農業を目指し、本市の強みである農産物、農産加工品、地酒、発酵食品などの地域資源を最大限に活用し「農業と食」をテーマとする大仙市全体が活気づく裾野の広い産業構想として策定する「大仙市農業と食に関する活性化基本構想」に掲げる基本方針を達成するため実施する事業計画とします。

## 2. アクションプランの期間

令和2年度～令和7年度（6カ年）

## 3. 基本コンセプト

豊かな風土が育む「強い農業」の持続的発展と「**美食産地 大仙**」ブランドの確立・発信による裾野の広い産業の振興と地域経済の活性化

## 4. 基本方針と指標目標

### 【基本方針1】

恵まれた風土を活かした  
強い農業の推進

### 【目標1】

生産性の高い持続可能な強い  
農業の確立を目指します

### 【指標目標1】

米・豆の販売マッチング	5件
1億円農業経営体	5経営体
ドローン導入	30件
いぶりがっこ原料大根拡大	10ha

### 【基本方針2】

農産物などの地域資源から  
日本酒・食品・料理への展開に  
よる裾野の広い産業の振興

### 【目標2】

農産物等の地域資源と食を有  
機的に結びつけた産業が創り出  
す付加価値の増加を目指します

### 【指標目標2】

農業ビジネス起業	3件
冷凍加工事業所稼働	1件
麴商品開発	5件

### 【基本方針3】

「**美食産地 大仙**」の情報発信  
の強化

### 【目標3】

本市独自の風土・農業・食の  
魅力に関する国内外の認知度向  
上を目指します

### 【指標目標3】

大仙市うまい米・うまい酒  
都市宣言 実施  
大仙あきたこまち・市産地酒  
・麴商品のPRイベント 3回

### 【基本方針4】

「**農業と食**」による地域活性化

### 【目標4】

「**農業と食**等をコンテンツとし  
て活用した交流人口の増加」を  
目指します

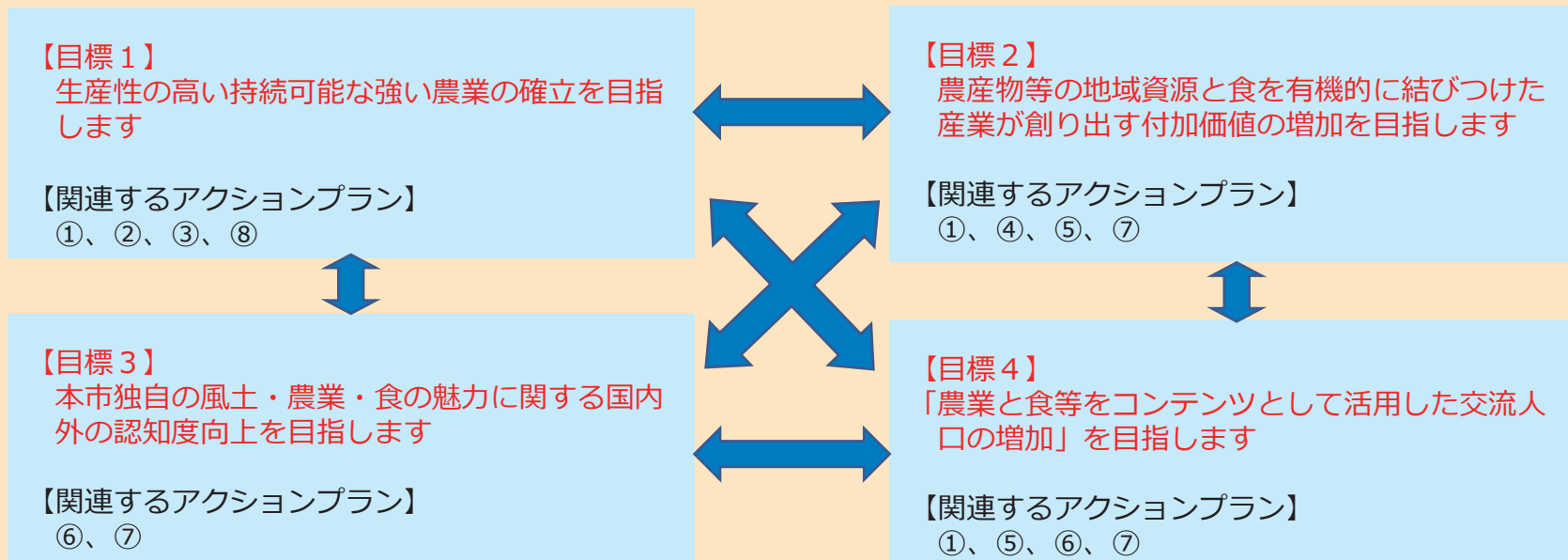
### 【指標目標4】

大仙あきたこまち・市産地酒  
・麴商品提供店舗数  
30店舗

## 第2章 基本方針とアクションプランの関連性

各アクションプランは、構想の基本方針の目標達成に向け、有機的に関連性を持ち実施します。具体的な事業は、期間内においても社会経済情勢の変化に対応し、必要に応じて見直しを図ります。

No.	アクションプラン
①	米や豆の生産における実需者との連携による農業所得の向上と加工工場の誘致
②	地域の核となる農業経営体の育成
③	スマート農業の推進と雪やもみ殻等未利用資源の活用
④	農業者の起業意欲向上と事業化の推進（農業者ビジネス塾・ビジネスコンテスト・起業家支援）
⑤	冷凍加工施設稼働に向けた取組
⑥	世界に向け「米と酒」を発信（大仙市うまい米・うまい酒都市宣言）
⑦	大仙市農産物の麴商品開発と市内飲食店での提供
⑧	いぶりがっこ用大根の生産拡大



# 第3章 事業計画

## ①米や豆の生産における実需者との連携による農業所得の向上と加工工場の誘致

本市は、稲作と土地利用型作物である大豆や枝豆での複合経営を推進し、生産面では一定の効果を得てきたところである。乾燥調製や選別など共同施設の整備と既存施設の機能向上に支援し、主食用、業務用、加工用など米のラインナップ化や大豆等の契約栽培を進め、中食、外食、加工も含めた需要に合わせた生産の取組及び実需者との連携を図り、農業者の所得向上に繋げる。

また、実需者との連携を深め、米や大豆等を原料とした加工工場の誘致に取り組む。

### プレーヤー候補

- J A、農業法人等
- 米、大豆、小豆、枝豆等の実需者、中食業者、外食業者、原料とする食品加工業者

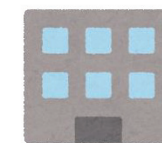
年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	共同施設整備の意向調査 米・豆等の実需者調査 大規模農業法人に向けた米・豆等機械導入支援	農業法人、施設利用組合等に共同利用施設の新規整備や機能向上に向けた修繕等の意向調査を実施。 大規模農業法人に向け米・豆等の土地利用作物用機械の導入に支援。 J Aの出荷先や中食、外食、加工業者等の実需調査を実施、J Aや農業法人等への情報提供等。
2年目	共同施設整備支援 実需者に向けた生産・調整に着手 大規模農業法人に向けた米・豆等機械導入支援	農業法人等の意向調査の結果を踏まえ、国・県への要望により共同施設整備を支援。機能向上に向けた修繕等は市単独事業により支援。 実需者のニーズと生産が繋がるよう活動。実需者等訪問。
3年目	共同施設整備支援 ラインナップ化による生産の調整と販売 大規模農業法人に向けた米・豆等機械導入支援	引き続き共同施設整備を支援。 J A等と連携し、業務用米、加工米等のラインナップ化と需要に応じた生産。 実需者との連携を進める。
4年目 ～ 6年目	共同施設整備支援 食品加工工場の誘致 大規模農業法人に向けた米・豆等機械導入支援	共同施設整備を支援 実需者との連携を深め、食品加工工場等の誘致に取り組む。



米や枝豆・大豆の生産



実需者（食品加工、中・外食業者）



食品加工工場

## ②地域の核となる農業経営体の育成

持続可能な強い農業の実現に向け、地域農業の核となる農業経営体が、畑作・園芸や六次産業化などを組み合わせた複合経営に取り組み、地域の産業として経営確立することを目指すため、規模拡大や経営体の連携、または経営統合により販売額1億円に取組む農業経営体に対し、経営アドバイザーの派遣や機械等の導入に支援する。

また、地域農業を担う後継者の育成に向け、稲作経営を継承する若手農業者の稲作機械導入に支援する。

プレーヤー候補

○農業法人等、若手農業後継者

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	1億円農業経営体モデルの作成と例示 農業法人等へのアンケート、意向調査 大規模農業法人 米・豆等機械導入支援 若手農業後継者 稲作機械導入支援	販売額1億円がイメージできる農業経営体の事例収集とモデル化。 農業法人等へのアンケート。現状把握と将来に向けた意向調査。 実現に向けた経営アドバイザーの派遣要望調査。 大規模農業法人に向け米・豆等の土地利用作物用機械の導入に支援。 親元の稲作経営を継承し、認定農業者または認定新規就農者となる若手農業者の稲作機械導入に支援。
2年目	経営アドバイザーの派遣 地域の核となる農業経営体計画の策定 大規模農業法人 米・豆等機械導入支援 若手農業後継者 稲作機械導入支援	経営アドバイザーの派遣。 規模拡大や連携、経営統合の話し合い。 地域の核となる農業経営体計画の策定。 機械等導入支援の継続。
3年目 ～ 6年目	2年目事業の継続	経営アドバイザーの派遣要望調査。 2年目事業の継続。



1億円農業経営体モデルの作成と例示



経営アドバイザー派遣

or



機械等導入の支援



核となる農業経営体の育成  
持続可能な強い農業

### ③スマート農業の推進と雪やもみ殻等未利用資源の活用

本市農業において、持続的な強い農業を目指すにあたり、人口減少に伴う農業従事者の高齢化や労働力不足が課題とされ、労力の軽減や生産と品質の向上を図るため、スマート農業の実践に向けた機械等の導入に対し支援する。  
また、本市の地理的特性による「雪」や稲作地帯であることで産出される「もみ殻」、バイオマス発電に伴う「廃熱」等に注目し、未利用資源を農業施設の冷暖房等に活用する新たな取組に支援する。

プレーヤー候補

○農業法人、農業者

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	スマート農業に向けた機械等の導入に支援 雪、もみ殻など未利用資源を冷暖房に活用した実証試験栽培への支援	農業用ドローンなど、スマート農業の実践に向けた機械等の導入に支援。 農業研修施設への実践的なスマート農業設備の導入。 雪、もみ殻、廃熱など、未利用資源を農業生産における冷暖房に活用する実証試験栽培の取組に支援。
2年目	1年目事業を継続 実証試験結果の検証	1年目事業を継続。 実証試験栽培については、県地域振興局等との連携により結果の検証。
3年目 ～ 6年目	1、2年目事業を継続	1、2年目の事業を継続。



スマート農業の実践に向けた  
機械等の導入

or



「もみ殻」や「雪」等  
未利用資源の活用



労力軽減・生産と品質の向上  
⇒ 持続的な強い農業



## ④ 農業者の起業意欲向上と事業化の推進（農業者ビジネス塾・ビジネスコンテスト・起業家支援）

農業者の起業意欲向上に向けて、農業者ビジネス塾・ビジネスコンテスト・起業家支援等の取組みを行う。

塾生候補

○農業研修生、研修生OB、農業者

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	農業者向けビジネス塾運営に向けた準備と環境づくり	ビジネス塾運営に向けた準備。 農業者が集うコミュニティ組成に向け、候補者へのアプローチ開始。 気軽に集まれる環境づくり。
2年目	ビジネス塾一期生1年目運営 (外部との連携で運営)	ビジネス塾の開講による定期的な講義の実施。一期3年計画で進める。 (一期生ごと二年間のカリキュラムで修了とし、翌年度にビジネスコンテストを実施する。)
3年目	ビジネス塾一期生2年目、二期生1年目運営	一期生2年目、二期生1年目講義の開催。
4年目	ビジネス塾二期生2年目、三期生1年目運営、 一期生向けビジネスコンテスト開催、ビジネスフォロー	二期生2年目、三期生1年目講義の開催。 一期生向けビジネスコンテストの開催、受賞者等へビジネスフォローを行う。
5年目	ビジネス塾三期生2年目運営、 二期生向けビジネスコンテスト開催、ビジネスフォロー	引き続き、一期3年計画での実施。起業する農業者を支援する。
6年目	三期生向けビジネスコンテスト開催、ビジネスフォロー	



ビジネス塾



ビジネスコンテスト



起業家のフォロー

## ⑤ 冷凍加工施設稼動に向けた取組

大仙市内には大仙市産冷凍野菜のニーズはあるが、加工できる施設が少ない。  
 すでに冷凍加工施設を運営している農業法人からの聞き取りでも、全国から冷凍野菜の引き合いがあり、施設整備により、契約栽培による農産物販売収入の安定化や大仙市産野菜を旬な時期に冷凍加工することによる通年販売が可能となり、販路の拡大が見込め、農業所得の向上が期待できる。  
 初年度には首都圏等消費地の冷凍野菜需要調査を進め、市内産野菜の冷凍加工施設の整備や誘致に取り組む。

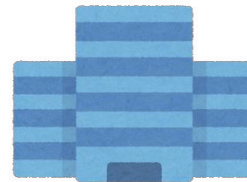
### プレーヤー候補

- 大仙市内企業が業務拡大
- 起業者の創業案件
- 県外大手加工メーカーの誘致

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	首都圏等消費地の冷凍野菜需要調査	消費地での冷凍野菜需要調査を行う。 市場で求められる冷凍野菜の加工法も含め調査する。
2年目	市内産野菜冷凍技術確立に向けた研究等	産学官金の連携事業として、実証研究等を具体的に進める。 「産」はプレーヤー、「学」は学校、「官」は市役所、「金」は金融機関が該当となるため、農林部が事務局である「農商観連携連絡会」との連携を検討。 具体的な施設整備の事業化に向けた準備を進める。
3年目 ～ 6年目	野菜冷凍加工施設整備 施設誘致活動	研究で確立した高度な技術を活用できる冷凍加工施設の整備や誘致に取り組む。



冷凍技術の確立



冷凍施設整備



冷凍野菜

## ⑥世界に向け「米と酒」を発信（大仙市うまい米・うまい酒都市宣言）

本市は、恵まれた地理的特性のもとで日本有数の米産地であることを市民が認識し、この優位性を大きな資産として次代に引き継いでいくため「大仙市うまい米・うまい酒」都市宣言をする。

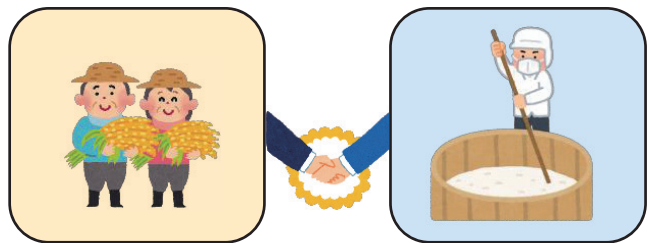
宣言に向け、要件をクリアした「大仙あきたこまち」や新品種「秋系821」によるブランド創出や、一定要件により地元栽培された酒米を使用した酒づくりにチャレンジし、市内飲食店による「大仙あきたこまち」のご飯や「大仙産米のお酒」等の提供を推進する。

また、本市の米・酒をPRし、国内はもとより、世界に向け販売展開を図る。

### プレーヤー候補

- J A 等市内主食集荷業者、農業法人等
- 大曲商工会議所、大仙市商工会、市内酒蔵会社、市内飲食店

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	「大仙あきたこまち」や地産酒米の要件の検討 秋系821の生産地要望	J A や米集荷業者等と「大仙あきたこまち」の要件の協議。 「大仙あきたこまち」要件の取組への協力について農業者への周知。 酒造会社と酒造用市内産米の要件と製造の協議。 県に令和4年度に本格栽培となる新品種秋系821の生産地となる要望。
2年目	「大仙あきたこまち」や地産酒米の生産 市内飲食店でのご飯やお酒の提供事業実施	「大仙あきたこまち」の生産・販売。 市内酒造会社との連携、酒づくりを実施。 大曲商工会議所、大仙市商工会を通じ、市内飲食店に提供を周知募集。 飲食店には米や酒の販売店の証明により、認定証を授与。
3年目 ～ 6年目	「大仙市うまい米・うまい酒」都市宣言 「大仙あきたこまち」「大仙産米のお酒」等のPR活動 世界に向けた米と酒の販売展開	2年目事業を継承、「大仙市うまい米・うまい酒」都市宣言とPR活動。 関係団体や企業と連携し、国内はもとより、海外に向けた米・酒の販売展開。 SNS・情報ツールを使ったPR戦略。



ブランド米・酒米

市内産酒米での酒造り



飲食店で市内産のご飯・お酒を提供



大仙うまい米・うまい酒都市宣言

## ⑦大仙市農産物の麴商品開発と市内飲食店での提供

大仙市内には日本で有数の麴や菌の研究と製造販売を行う秋田今野商店があり、麴や菌の製造は特殊な技術と研究等施設が必要であるため、ビジネスとして手がける企業は少なく、秋田今野商店の協力を得られること自体が特別な意味を持つ事業となる。

市内には酒造会社や麴屋等の発酵に関連する企業があるものの、各企業が発酵文化について情報交換できる場が無く、連携できる仕組みをつくり、連携体からの協力を得ながら、大仙市の農畜産物を使用した麴商品開発を進める。

開発した麴商品については、市内飲食店での提供を推進する。

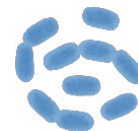
プレイヤー候補

- 秋田今野商店
- 秋田県内大学・高校等
- 秋田県内金融機関
- 市内飲食店
- 商工団体（商工会議所・商工会）

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目	各企業の連携体の立上げ準備・調整 大仙市独自の発酵食確立を目指した具体的な取組 研究・商品開発	各企業が参加しやすい体制を検討し、連携体の立上げの準備と調整を進める。 産学官金の連携事業として、実証研究等を具体的に進める。 「産」はプレイヤー、「学」は学校、「官」は市役所、「金」は金融機関。 大仙市農産物を軸とした発酵食品開発を行う。
2年目	連携体を立上げ、発酵文化の情報発信や次世代への継承 に向けた協議を行う。 商品完成後のPR活動と商品ブラッシュアップ。	連携体を中心に、具体的に大仙市発酵文化の情報発信に必要な取組を検討し、地域 発酵文化を次世代につなげる活動を検討する。 完成した商品PRを行い、商品のブラッシュアップにも取り組む。 大仙市の特産品として商品確立を目指す。
3年目	発酵文化発信等の事業展開 開発商品を提供する市内飲食店募集と調整	連携体による本市発酵文化を活かした事業展開。 開発した商品や、大仙市産の米・お酒、発酵食品を提供できる環境を整備していく。
4年目 ～ 6年目	飲食店数拡大にむけた取組み	メニュー提供できる市内飲食店数の増加を図る活動。



実証研究



麹菌・酵母などの有用微生物



独自の麴・発酵食品などの開発

## ⑧いぶりがっこ用大根の生産拡大

国内トップのいぶりがっこ生産地である大仙市において、市外産大根を原料として製造されているいぶりがっこの量が多いため、市内産大根を原料とした純大仙市産いぶりがっこの製造量を増加させたい。  
大仙市内農業者がいぶりがっこの原料大根生産拡大のため、拡大面積に応じて支援する。

プレーヤー候補

○市内農業者

年度	取組みのイメージ	実際の動き
1年目 ～ 6年目	市内のいぶりがっこ原料の大根栽培を進めるため、拡大する大根生産面積に応じた支援	市内のいぶりがっこ用製造会社への出荷に向けて拡大する大根の生産面積に応じ支援。 大根生産者といぶりがっこ製造業者の需給調整に向けた情報の提供。  ※「大仙市いぶりがっこ産地化事業」では、更なるブランド化を図るため、いぶりがっこの2次加工品開発に向けた取組や商品化等を実施しており、ブランド化と共に生産量の拡大を進める。



大仙市産大根の生産拡大



大仙市産いぶりがっこの製造量増加

# 第4章 事業スケジュール

事業名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
<b>(1) 米や豆の生産における実需者との連携による農業所得の向上と加工工場の誘致</b>						
【共同利用】施設整備支援	意向調査	共同利用施設整備、改修補助				
米・豆ラインナップ化とマッチング	実需者の調査	実需との調整・販売	ラインナップ化、実需との調整・販売			
【農業法人】米・豆等機械導入支援	機械導入に関する補助					
食品加工工場の誘致			誘致に向けた情報収集	工場誘致の取組		
<b>(2) 地域の核となる農業経営体の育成</b>						
1億円農業経営モデル検討	事例収集とモデル化					
農業経営プランニング	農業法人アンケート	経営アドバイザー派遣、規模拡大や連携、経営統合の話し合い、農業経営計画策定				
【農業法人】米・豆等機械導入支援	機械導入に関する補助					
【次代に繋ぐ】若手農業後継者支援	稲作機械導入補助					
<b>(3) スマート農業の推進と雪やもみ殻等未利用資源の活用</b>						
【農業法人】スマート農業チャレンジ支援	防除用ドローン等導入補助					
雪、もみ殻を冷暖房に活用した栽培実証	実証試験栽培補助	結果の検証				
<b>(4) 農業者の起業意向向上と事業化の推進（農業者ビジネス塾・ビジネスコンテスト・起業家支援）</b>						
研修生、農業者へのアプローチ	コミュニティづくり					
ビジネス塾一期生		ビジネス塾1年目	ビジネス塾2年目	ビジネスコンテスト	ビジネスフォロー	
〃 二期生			ビジネス塾1年目	ビジネス塾2年目	ビジネスコンテスト	ビジネスフォロー
〃 三期生				ビジネス塾1年目	ビジネス塾2年目	ビジネスコンテスト・フォロー
<b>(5) 冷凍加工施設稼働に向けた取組</b>						
野菜等冷凍加工商品化プロジェクト	消費地での需要調査	冷凍技術確立に向けた研究				
冷凍加工施設整備			施設誘致活動、施設整備			
<b>(6) 世界に向け「米と酒」を発信（大仙市うまい米・うまい酒都市宣言）</b>						
大仙あきたこまちブランド化	要件の協議、生産者への協力依頼	生産・販売	生産・販売、都市宣言とPR			
県ブランド米 秋系821	生産地要望	生産・販売	生産拡大			
地産酒米による地酒づくり	酒蔵と酒米の要件協議	市内産酒米での地酒づくり	生産・販売、都市宣言とPR			
市内飲食店での提供		市内産米や地酒提供	大仙産「うまい米・うまい酒」を提供する飲食店の拡大			
<b>(7) 大仙市農産物の麴商品開発と市内飲食店での提供</b>						
麴関連企業連携	連携体立上げ準備・調整	連携体立上げ	連携体を中心とした事業展開			
麴商品開発プロジェクト	産学官金連携の実証研究	特産品としての商品開発	商品ブラッシュアップ	大仙市内飲食店での提供		
<b>(8) いぶりがっこ用大根の生産拡大</b>						
原料大根栽培拡大支援	生産拡大面積に応じた補助					



---

**農業と食に関する活性化基本構想**  
**アグシヨンプラン**

**令和2年3月**

編集・発行 大仙市  
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号  
TEL 0187-63-1111 FAX 0187-63-1119  
ホームページ <https://www.city.daisen.lg.jp/>

---